

平成24年2月10日  
国土交通省東北地方整備局  
小名浜港湾事務所

## 小名浜港橋梁工事における「鋼殻ケーソン据付作業」を報道関係者に公開 します。(公開日の変更)

小名浜港では3号ふ頭と東港地区の人工島を連絡する臨港道路（橋梁）の整備を行っており、現在、3号ふ頭部と航路部において橋梁の土台となる基礎及び橋脚の工事を進めております。

このうち、航路部の2基の基礎及び橋脚は「ニューマチックケーソン工法」で工事を行っておりますが、基礎となる鋼殻ケーソンの据付作業について、報道関係者への公開を下記の通り変更しますので、お知らせいたします。

### ■工事実施場所

小名浜港3号ふ頭

### ■公開日（予定）

平成24年2月14日（火）9：30～12：00（9:30～9:45 概要説明）

【当日の作業スケジュール（作業状況により時間は前後する場合があります）】

9:30～10:00：起重機船による鋼殻ケーソンの移動（係留場所（2号ふ頭）から橋脚位置）

10:00～11:00：橋脚位置での起重機船の固定作業

11:00～12:00：起重機船による鋼殻ケーソンの据付作業

※気象状況により実施日時が延期される場合があります。

### ■工事概要

別紙参照

### ■その他

実施日時を変更する場合の連絡を行うため、参加を希望される報道関係者の方は、事前に下記までご連絡をお願いいたします。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所

副所長 とどろき まさひこ 轟 正彦 （電話：0246-53-7100）

前任建設管理官 さとう こうき 佐藤 幸喜 （電話：0246-53-7103）

URL：<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/onahama/>

発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ

## 工 事 概 要

### ■ニューマチックケーソン工法

ニューマチックケーソン工法の「ニューマチック」は「空気の」という意味で、「ケーソン」は「函（はこ）」を意味します。

鋼製の函（はこ）の下部に気密な作業室を設け、ここに地下水圧に見合った圧縮空気を送り込むことにより、地下水の浸入を防ぎます。そして、鋼製の函の中にコンクリートを打設するとともに下部の作業室で掘削排土を行いながらその函を沈めます。

### ■作業の概要

据付作業は、鋼殻ケーソン（鋼製の函）を700t吊り起重機船で係留場所（2号ふ頭）から吊り上げながら移動して、橋脚位置に据え付けます。

鋼殻ケーソンは、三重県津市の工場で製作し、海上を輸送して小名浜港まで運ばれました。

(参考)

- ・ 鋼殻ケーソンの大きさ：幅12m×長さ18m×高さ16m（1函）
- ・ 鋼殻ケーソンの重量：約630t（1函）

